



祝 (主)近江八幡守山線【(都)大津湖南幹線】開通

- **新年度予算審議**
(一般会計予算 全会一致で可決)
- **野洲市民病院整備事業特別委員会の概要**
- **都市基盤整備特別委員会の概要**
(野洲駅南口整備の方向性について協議)



目次	臨時会・定例会の審議結果	▶ P. 2
	特集① 野洲市民病院整備事業特別委員会 ..	▶ P. 3
	特集② 都市基盤整備特別委員会	▶ P. 4
	委員会報告	▶ P. 5
	代表質問	▶ P. 8
	一般質問	▶ P.11
	特集③ 議員紹介	▶ P.18



「大津湖南幹線開通式」
議会だより編集委員会 提供

発行/野洲市議会 編集/議会だより編集委員会
滋賀県野洲市小篠原2100番地1 (520-2395)
TEL 077-587-6034 FAX 077-586-4300



やす市議会だより



広報やす

紙面掲載のQRコードよりホームページ内の資料・映像がご覧いただけます

令和7年 第1回臨時会 審議した議案と結果

令和7年1月31日開会の第1回臨時会では、議案1件（一般会計補正予算1件）について審議しました。

提出区分 市：市提出議案

第1回臨時会では議案が全員賛成で可決されました。



分類	提出区分	議案番号	件名	審議結果
補正予算	市	議第1号	令和6年度野洲市一般会計補正予算（第8号）	可決

令和7年 第2回定例会 審議した議案と結果

令和7年2月25日開会の第2回定例会では、議案40件（新年度予算10件、補正予算7件、条例制定・改廃17件、その他2件、人事案件3件、議員提案1件）について審議しました。

提出区分 市：市提出議案 議：議員提出議案（記載は議案番号順）

網掛けの議案は、賛否が分かれた議案です。審議結果は【賛否が分かれた議案】をご覧ください。



3月4日



3月21日

分類	提出区分	議案番号	件名	審議結果
新年度予算	市	議第2号	令和7年度野洲市一般会計予算	可決
	市	議第3号	令和7年度野洲市国民健康保険事業特別会計予算	可決
	市	議第4号	令和7年度野洲市後期高齢者医療特別会計予算	可決
	市	議第5号	令和7年度野洲市介護保険事業特別会計予算	可決
	市	議第6号	令和7年度野洲市墓地公園事業特別会計予算	可決
	市	議第7号	令和7年度野洲市基幹水利施設管理事業特別会計予算	可決
	市	議第8号	令和7年度野洲市工業団地等整備事業特別会計予算	可決
	市	議第9号	令和7年度野洲市水道事業会計予算	可決
	市	議第10号	令和7年度野洲市下水道事業会計予算	可決
	市	議第11号	令和7年度野洲市病院事業会計予算	可決
	市	議第12号	令和6年度野洲市一般会計補正予算（第9号）	可決
補正予算	市	議第13号	令和6年度野洲市国民健康保険事業特別会計補正予算（第4号）	可決
	市	議第14号	令和6年度野洲市後期高齢者医療特別会計補正予算（第4号）	可決
	市	議第15号	令和6年度野洲市介護保険事業特別会計補正予算（第4号）	可決
	市	議第16号	令和6年度野洲市墓地公園事業特別会計補正予算（第2号）	可決
条例	市	議第17号	野洲市職員の配偶者同行休業に関する条例	可決
	市	議第18号	刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例	可決
	市	議第19号	野洲市くらし支えあい条例等の一部を改正する条例	可決
	市	議第20号	野洲市交通安全対策会議条例及び野洲市都市計画審議会条例の一部を改正する条例	可決
	市	議第21号	野洲市附属機関設置条例の一部を改正する条例	可決
	市	議第22号	野洲市職員の定年等に関する条例の一部を改正する条例	可決
	市	議第23号	野洲市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	可決
	市	議第24号	野洲市職員の給与に関する条例及び野洲市職員の定年等に関する条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例	可決
	市	議第25号	野洲市国民健康保険税条例の一部を改正する条例	可決
	市	議第26号	野洲市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	可決
	市	議第27号	野洲市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	可決
	市	議第28号	野洲市地域包括支援センターにおける包括的支援事業の実施に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	可決
	市	議第29号	野洲市水道法に基づく技術上の監督業務を行う者を置く水道の布設工事等を定める条例の一部を改正する条例	可決
	市	議第30号	野洲市病院事業職員の給与の種類及び基準に関する条例及び野洲市職員の定年等に関する条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例	可決
	市	議第31号	野洲市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例	可決
	市	議第32号	野洲市非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部を改正する条例	可決
	市	議第33号	野洲市工業振興条例を廃止する条例	可決
その他	市	議第34号	市道路線の認定及び廃止について	可決
	市	議第35号	事業契約の変更について（野洲市余熱利用施設整備運営事業）	可決
人事	市	議第36号	人権擁護委員の候補者の推薦につき議会の意見を求めることについて	適任
	市	議第37号	人権擁護委員の候補者の推薦につき議会の意見を求めることについて	適任
	市	議第38号	人権擁護委員の候補者の推薦につき議会の意見を求めることについて	適任

分類	提出区分	議案番号	件名	審議結果
予補算正	市	議第39号	令和6年度野洲市一般会計補正予算(第10号)	可決
	市	議第40号	令和7年度野洲市一般会計補正予算(第1号)	可決
発議	議	発議第1号	野洲市議会の個人情報の保護に関する条例の一部を改正する条例	可決

賛否が分かれた議案

○：賛成 ●：賛成しない

議長(山本剛議員)は表決に加わりません。ただし、可否同数の場合、議長が裁決します。

左から会派別名簿順 民：民主やす 暮：暮らしと自治を考える会 共：日本共産党野洲市議会議員団 無：無会派

提出区分	議案番号	件名 概要	審議結果	創政会					新誠会					公明党	民	暮	共	無
				荒川 泰宏	奥山文市郎	服部嘉雄	稲垣誠亮	山崎有子	石川恵美	山崎敦志	東郷克己	岩井智恵子	鈴木市朗	橋俊明	津村俊二	木下伸一	議山本剛	田中陽介
市	議第3号	令和7年度野洲市国民健康保険事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○
市	議第4号	令和7年度野洲市後期高齢者医療特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○
市	議第5号	令和7年度野洲市介護保険事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○
市	議第22号	野洲市職員の定年等に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市	議第25号	野洲市国民健康保険税条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○
市	議第33号	野洲市工業振興条例を廃止する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○
市	議第35号	事業契約の変更について (野洲市余熱利用施設整備運営事業)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●

■は討論を行った議員

特集①

野洲市民病院整備事業特別委員会

令和7年2月17日、病院整備に関する市長談話の「市民負担軽減策」を審議する委員会を開催し、執行部から説明を受け、質疑応答を行いました。



執行部からの説明

整備コスト削減では、建物内で整備予定の薬局を取りやめ、工事用仮設道路の取りやめなど35項目の見直しで合計5億1,209万円の減額、感染症拡大時の対策など合計4,595万円の増額を見込んでいる。入院収益の確保では、整形とリハビリに優位性を持つ病院を打ち出し、医師、看護師等医療スタッフの充実に取り組む。収支計画では、物価スライドによる建築費や人件費の上昇を折り込み一部悪化しているが、運用は可能と見込んでいる。工事スケジュールは、本年3月から杭打ち工事に入り、令和8年10月には全工事が完了予定。

主な質疑応答

- 問** 工事車両進入路取りやめは、周辺への影響等問題ないか。
答 工事工程毎に正確な台数等を把握できており、問題無い。
- 問** 薬局は、その収益で交通利便性確保を図る計画であったと記憶するが。
答 近傍地で薬局が開院される情報を得たこと等から取りやめた。利便性の確保に関しては、市民のご意見を聞き検討していく。
- 問** 収支計画における市からの市税投入はいくらになるか。
答 地方公営企業法のルールに基づく。
- 問** 199床に拘っているように見えるが、医師、看護師等確保できるのか。
答 湖南圏域ではあと10年以上人口は減らず、高齢者が増え、基本的に病床は足りない。医師や看護師不足は厳しいが、対策を講じ努力する。
- 問** 物価上昇への対応について、事業者側の企業努力は求めないのか。
答 事業者にもある程度自己責任を持ってもらう。物価スライドの率は建設物価調査会の建築費指数を用いた物価上昇率である。

都市基盤整備特別委員会

令和7年3月27日、野洲駅南口周辺整備事業について都市基盤整備特別委員会を開催しました。執行部からの説明と質疑応答及び委員間討議の主な内容をお知らせします。



執行部からの説明

新市長の公約に基づき、駅前の土地は売却せずパーク整備するとの方針となったため、既基本協定の連携事業者と協議したところ、折衷案の変更提案を提出されたが、市長の公約と折り合わないで協定を終了せざるを得ないと考えている。その場合、全体構想の見直しを市民の意見を伺う中で検討していく。

主な質疑応答

- 問** 基本協定を終了するとした場合、違約金は発生するのか。
- 答** 原則として違約金を支払うことはないと考えている。
- 問** 基本協定を市長の一方的な都合で終了することは野洲市の信用失墜につながる恐れがあるのではないか。
- 答** 選挙に伴う政策転換というのは当然あるので、それに伴うリスクというものは、広い意味でのコストと考えざるを得ない。できるだけ誠実に対応していきたい。
- 問** 我々は、駅前では税収確保という考え方を持っている。議会に協議を求めている結果、考えはもう決まっているというやり方は議会への責任転嫁ではないか。
- 答** 整備方針について、選挙公約でもあったので、これは市民との約束だと思っており、変えることは約束をたがえることになるのでできない。税収の部分は、駅前だけで税収を上げるということは考えていない。
- 問** これから1年かけて検討する場合、相当な時間と労力が必要で、市民同士での議論ができるような仕組みが必要だ。どのような進め方を考えているのか。
- 答** 説得するのではなく、市民の声も踏まえて変えていけるような形が大事だと思っている。市民との対話や市民間の提案の中で浮かび出しながら進めていきたい。

主な委員間討議

- ・今回の方針変更は、短期的な税収確保の場所という価値から長期的なまちづくりの拠点へと価値の転換だと考えることができる。市民と共に実現していける価値はあると考える。
- ・このまま連携事業者と協議を進めても市民が求めている駅前にはならない。時間がかかっても、まずはこれまでの市民アンケート、そして市長選で示された市民が求める整備を進めるべきと考える。多くの市民と議論を重ね、いいものを作っていきたい。
- ・協議は終了する判断をせざるを得ない。今回の修正のプランであれば、元の提案の方が遥かによかったと思う。玄関口がマンションの駐車場というのは事業者のための整備に見える。信用の失墜の懸念があるのでそこを最小限にする努力は必要である。
- ・協議や会議というものも工夫してほしい。また、令和10年には高専が開校することも踏まえた上で北口、またこの南口をどのようにするのか、市民の方はどんな意見を持っているのか、数多くの意見を集約していかないといけないと思う。今の連携事業者との話し合いはおそらく困難になると思うので、切り替えて、とにかく市民の声をどれだけ多く聞けるかが一番の鍵になると思う。
- ・我々の会派はABCを売らないという市長の前提をもとにするのであれば、協議は終了するしかないという考えである。
- ・このことで駅前が塩漬けになって将来に禍根を残さないようスピード感も必要。ビジョンをしっかり挙げて市長の英断でやることも必要。そして議会で説明責任を果たして頂きたい。
- ・ABCを売らないという前提であればまちのコンセプトを守りながら駅前を揚げ、需要のあるシニアマンションを検討してほしい。
- ・どこも同じようなビルが建っている駅前で、野洲市も同じようにしてはいけない。税収が見込める土地は野洲市にはたくさんあるので税収確保は別で考えるべき。
- ・議会として、以前、文化施設集約の際に市民の話を聞く懇談会を開催したが、この課題においてもそうした手法があってもよいのではないかと。議会としても合意形成を図っていくように私たちも考えていかなければいけない。
- ・合意形成に議会が動くというのは賛成である。また、今回1者しか入札できなかった理由として駐車場の不足ということが課題であったと聞いている。駐車場をクリアすることで新たな民間提案等も見えてくるのではないかと。

予算常任委員会 文教福祉分科会

議第2号 令和7年度野洲市一般会計予算

問 教育振興事業費の学校司書について、今年度は1名 祇王小学校に配置された。次年度からの1名も祇王小学校に配置されるのか。

答 現在は、図書館の職員を兼務にてアドバイザー的な形で配置している。次年度も引き続き配置することに加え、学校司書が新たに就くため市全体で2名体制となる。

問 児童対策推進事業費の新規採用保育士等就職定着給付金230万円について、対象と1人当たりの給付額、就職期間を伺う。

答 この補助金は、民間保育所のみが対象で、制度設計は1年間継続して就労した場合、1人最大10万円である。

問 地域医療政策推進事業費の滋賀医科大学共同研究講座関連で実施される研修会等の情報をHP、チラシで周知することや骨粗鬆症について若年層、中高生向けの事業の実施は考えていないのか。

答 共同研究の内容をリアルタイムで市民に可視化していく観点、重要だと認識している。研究期間が一定経過し、制度、熟度が上がってきた段階で対応していきたい。

また、STEAM教育と食育についても、若年層に働きかける必要があると認識している。

議第11号 令和7年度野洲市病院事業会計予算

問 収益的支出の入院収益について、予算約22億6,000万円を計上しているが、令和5年度決算額16億円に対し6億円の増額となっている要因は何か。

答 入院収益の増額は、滋賀医大との共同研究講座で脊椎専門の医師を新たに迎えるため、手術件数の増を見込んでいる。

その他

議第3号 令和7年度野洲市国民健康保険事業特別会計予算

議第4号 令和7年度野洲市後期高齢者医療特別会計予算

について、質疑はなかった。

議第5号 令和7年度野洲市介護保険事業特別会計予算
質疑はあったが紙面の都合上割愛。

文教福祉常任委員会

議第25号 野洲市国民健康保険税条例の一部を改正する条例

問 今回の国民健康保険税率等の見直しは財政調整基金と関係があるのか。

答 現状では財政調整基金が枯渇する形になるので、県が示す標準保険料に合わせる形で、税率を改正する。

議第26号 野洲市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

問 市内園の栄養士は、条例でいう管理栄養士と資格的に何が異なるのか。

答 本条例改正では、管理栄養士の国家試験受験資格要件に一定の養成学校を卒業した者が追加されたことに伴うもので、現在働いている栄養士の資格、運用に変更はない。

議第30号 野洲市病院事業職員の給与の種類及び基準に関する条例及び野洲市職員の定年等に関する条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例

問 野洲病院を民間から公営にするときの報酬等の考え方は、いわゆる公立病院とは違う観点で行うとの説明を受けたが、国の改定に合わせて動かしていくことの整合性は。

答 新しい病院では、目標とする収益を確保することによって、結果として一般的な公立病院と遜色ないような給与体系が保てる経営をめざしていく。

その他

議第22号 野洲市職員の定年等に関する条例の一部を改正する条例

議第27号 野洲市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

議第28号 野洲市地域包括支援センターにおける包括的支援事業の実施に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

について、質疑、委員間討議ともになかった。

常任委員会

予算常任委員会分科会では、一般会計および特別会計等の予算について、常任委員会では、条例の制定及び改正等について審査しています。各委員会の審査で行われた質疑応答の一部について概要を掲載しています。

予算常任委員会 総務分科会

議第2号 令和7年度野洲市一般会計予算

問 野洲駅南口周辺整備構想検討事業はどのような規模・内容を想定しているのか。

答 野洲駅前のポテンシャルも含め現状分析を行い、現構想を尊重しながらも調整をかけていきたい。全体のスキームが出来上がれば、それぞれの街区について外部調整などを検討する。今回は区域全体の見直しであり、駅前自治会館や消防団詰所、現野洲病院の跡地の活用も睨みながら一体的に考えていきたい。

問 野洲市議会議員選挙及び参議院議員選挙費について投票率向上のために大手スーパーでも投票できるなど高齢者が投票に行きやすくなるよう予算計上しているのか。

答 商業施設での期日前投票を中主防災センターの代わりとして検討していく。また、今年度から高齢者への対応としてコミュニケーションボードを取り入れている。

問 文書管理・電子決裁システム構築・運用保守委託料はどのような内容か。

答 公文書について、現行の紙の回議書に判子を押して持ち回るやり方からこのシステムによりデジタル化

で即座に確認、早く公文書を発出できるものである。

問 トランプ大統領の関税政策に伴い、関税がかかってくると市内企業の法人市民税に影響が出てくるのか。

答 大手企業で輸出に頼っている事業所は、大きく影響すると思われる。

問 市民税について対前年度比較では増収であるが、人口フレームをどのように推計して予算化したのか。

答 3年間の平均値で算定している。増収は令和6年度における定額減税の影響もある。



総務常任委員会

議第17号 野洲市職員の配偶者同行休業に関する条例

問 休業した場合、昇給等に対して減額等の不利益が発生するのか。

答 部局内の他の職員との均衡上、必要と認められる場合は、休業期間の100分の50以下の換算率によって調整することができる。

委員間討議はなかった。

議第23号 野洲市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

問 薬剤師等の報酬について、守山市はすでに提案の金額にされており、それに野洲市が合わせたのか。

答 守山市と同額、または近い金額に定めるものである。委員間討議はなかった。

議第35号 事業契約の変更について(野洲市余熱利用施設整備運営事業)

問 維持管理業務、運営業務、その他の業務とは何を指しているのか。

答 この事業に対する運営会社本体の運営やそれにかかわる人件費、そして事業自体を運営していくにあたっての必要経費である。

問 物価変動による増額は指数によって毎年上がっていくが、法的根拠があるのか。

答 契約により、毎年、物価の変動率等を勘案して改定することになっている。

委員間討議はなかった。

その他

議第18号 刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例

議第19号 野洲市くらし支えあい条例等の一部を改正する条例

議第20号 野洲市交通安全対策会議条例及び野洲市都市計画審議会条例の一部を改正する条例

議第24号 野洲市職員の給与に関する条例及び野洲市職員の定年等に関する条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例

議第31号 野洲市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例

議第32号 野洲市非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部を改正する条例

について、質疑、委員間討議はなかった。

予算常任委員会 環境経済建設分科会

議第2号 令和7年度野洲市一般会計予算

問 塵芥処理費の増額の要因は。

答 主な要因は2点あり、1点目は人件費の高騰、2点目は水銀使用の廃製品処理に加えて、乾電池の処理も同業者が処理することに変更されたためである。

問 令和5年度に実施されたエネルギー価格高騰対策事業者支援補助金が計上されていない。小規模事業者への支援として予算計上は考えられなかったのか。

答 令和5年度は国の臨時交付金を活用して対応した。エネルギー価格が現在高騰していることから、今後国からの対策が示されれば、支援をしていきたい。

問 都市公園管理費が前年度の3倍であるが要因は。

答 都市公園の長寿命化対策事業が最大の要因である。内訳は野洲川河川公園の管理棟の改修工事と都市公園2公園の遊具の更新である。

議第6号 令和7年度野洲市墓地公園事業特別会計予算

問 墓地公園管理棟は雨漏りがひどかった。その点について問題なく施工を完了されたのか。

答 工事は令和7年1月末に完了した。工事業者と梅雨時期、台風時期に雨漏り等がないか確認する。

議第9号 令和7年度野洲市水道事業会計予算

問 水道料金の改定について検討されるが、近隣市の状況はどうか。

答 料金収入の減少、老朽化対策への経費、県の受水費の見直し等を受け、同じような動きが見えてくる。

その他

議第8号 令和7年度野洲市工業団地等整備事業特別会計予算

議第10号 令和7年度野洲市下水道事業会計予算について、質疑があったが紙面の都合上割愛。

議第7号 令和7年度野洲市基幹水利施設管理事業特別会計予算
質疑はなかった。

環境経済建設常任委員会

議第33号 野洲市工業振興条例を廃止する条例

問 工業振興条例が廃止され、野洲市企業立地促進助成制度が創設される。この助成制度では、補助要件から中小企業が補助を受けるのは難しい。大企業向けの制度か。

答 どの企業でも補助の対象である。この助成制度は、新たに野洲市に進出を希望する企業、あるいは既存の企業で野洲市内に規模を拡大する企業が対象である。今まで大きな企業の支援制度がなかったもので、今回は特に製造業の事業所を対象にした制度を考えている。

問 条例を廃止せずに中小企業支援を中心とした補助制度に条例を改正することはできないか。

答 中小企業に対する補助はあり、それらを活用されるように周知すると共に、必要な支援があれば予算化に向けた検討をする。

委員間討論はなかった。

その他

議第21号 野洲市附属機関設置条例の一部を改正する条例

議第29号 野洲市水道法に基づく技術上の監督業務を行う者を置く水道の布設工事等を定める条例の一部を改正する条例

議第34号 市道路線の認定及び廃止について、質疑、委員間討論ともになかった。

議会豆知識

委員会とは・・・ 議会の内部組織として、本会議における審議の予備的審査、調査機関として設置されています。野洲市議会では、議会運営委員会のほか、予算常任委員会と、総務、文教福祉、環境経済建設の3常任委員会が設置されています。

議会の議決を要する案件については、原則委員会に付託され委員長が委員会の審査結果や調査経過などを本会議で報告し、本会議の採決により可否が決定されます。

また、予算関係については、予算常任委員会に3分科会（総務分科会、文教福祉分科会、環境経済建設分科会）を設置し分担して審査を行います。

代表質問の掲載内容は、主な質問・答弁の概要のみです。
詳細は、市議会ホームページの会議録またはインターネット録画中継
をご覧ください。また、会議録は市役所情報公開コーナー、図書館、
コミセン等で閲覧できます。会議録の閲覧は6月初旬の予定です。

2月定例会

代 表 質 問



創政会

あらかわやすひろ
荒川 泰宏 議員



創政会（6名） ◎は代表

◎ 荒川 泰宏
服部 嘉雄
稲垣 誠亮

奥山文市郎
山崎 有子
石川 恵美

施政方針を分析(活力ある野洲市に向けて)

問 この度、市長から3つの施政方針を示された。この方針と会派からの政策提案について質問する。

1点目の「若い世代から選ばれるまち」について、駅前南口のAブロックを芝生広場にし、周囲にカフェ等を設ける。さざなみホールをリノベーションし、子どもの遊び場を整備するとのことであるが、当会派は、駅前にビジネスビル・ビジネスホテルを提案してきた。官民連携事業者であるサンヨーホームズ株式会社との進捗状況はどのように進んでいるのか。

答 サンヨーホームズ株式会社から、変更提案の提示があり、提示内容を精査しているところである。

問 市内には、希望が丘文化公園、吉地公園等がある。33,000坪のMIZBEステーションの空間整備に力を入れるべきと考えるが見解を伺う。

答 駅前に期待される機能と水辺の機能は違うので、特徴を活かす考えである。

問 官民連携事業の基本協定を締結している中で、新たな駅前構想提案が、各事業者の説明から逸脱しないか懸念するが、見解を伺う。

答 異なったものになれば、再公募の必要等、様々な視点で検討や分析が必要と考える。

問 2点目の「高齢者にも安全、安心で楽しいまち」であるが、高齢者に対する独自の取組みを調査研究等されているか。具体的な施策はあるのか。

答 自発的な健康づくりを推進する仕掛けの一つとして健康ポイント制度の議論を始めたところである。

問 団塊世代は、今、78歳から75歳あたりである。今後は介護施設や医療機関が必要となる中、老人クラブ連合会や社会福祉協議会とどのように関わっていくのか見解を伺う。

答 市民の生活や価値観の変化の中で、高齢者関連団体と適切に役割を分担し、高齢者の社会参加活動を支援していく考えである。

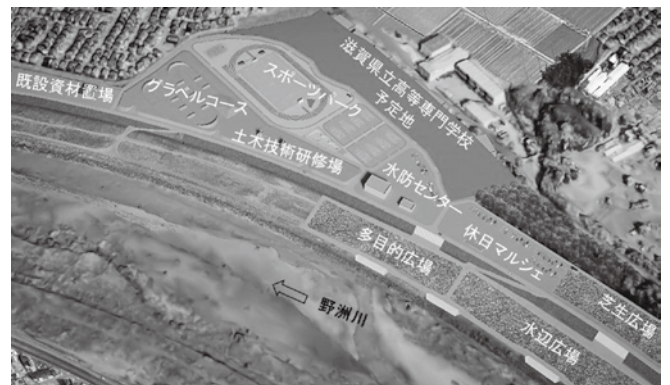
問 3点目の「市民、民間の力を最大限に活かすまち」であるが、産官学連携として滋賀県立高等専門学校の誘致は多くの関係者の尽力で令和10年春に開校が進められている。野洲駅北口線は、高等専門学校の開校に向けて、また野洲市発展に欠かせない背骨となる計画道路である。

進捗状況はどうなっているのか。

答 路線の必要性は認識している。引き続き事業の実施に向けて動いていきたい。

問 子ども・子育てについて、創政会は、子ども・子育て支援基金の創設を提案する。具体的には、ふるさと納税の寄付金を、現在、積み立てている基金から切り離して、毎年度一定の比率で子ども・子育て支援基金に必要に応じて教育振興や子育て支援事業に充当する案である。見解を伺う。

答 現在の野洲市まちづくり寄附条例においては、基金の設置や管理経費の充当処分などを定め、適正に処理できていることから、新たな基金創設は必要でないと考えているところである。



MIZBEステーション整備イメージ図
※決定しているものではありません。



新誠会

やまざきあつし 議員
山崎 敦志



新誠会（5名） ◎は代表

◎ 山崎 敦志 東郷 克己
岩井 智恵子 鈴木 市朗
橋 俊明

今後のまちづくり構想&教育のまち

問 第2次野洲市総合計画（令和3年3月策定）に即し、同時期に都市計画マスタープランが策定され、令和6年に一部改訂が実施され、野洲市まちづくりの拠点を野洲駅周辺、北部合同庁舎周辺、そして総合体育館の3拠点が定められた。

市長は野洲の未来について、1.若い世代から選ばれるまちにする、2.高齢者にも安心安全で楽しめるまちにする、3.市民、民間の力を最大限活かすまちにするがあげられている。

滋賀県が今般、都市計画区域一斉随時見直しを実施する方向となり、本市は富波乙地区、富波甲地区、大篠原鷺坪地区の3か所を候補地としているが、野洲市の市街化率は何%を目指すのか。

また、既に市街化区域である野洲駅北口C地区の開発は、小規模開発であり、市として何らかの支援はあるのか。

答 野洲市の市街化区域率は13.1%である。令和7年度末に滋賀県に候補地として申出の予定をしている市街化編入の合計面積は27.3ヘクタールで、この編入により市街化区域率は13.6%になる。本市が目指す多極ネットワーク型のコンパクトシティーに沿って、引き続き、都市計画マスタープランに示す産業系及び住居系拡大市街地圏域の区域区分の見直しが少しでも進むよう努める。2点目、当該地区が幹線道路沿道区域として周辺の環境に配慮した商業系を中心とした土地利用が図られ、施設等が適正に配置されるよう野洲市都市計画マスタープランに沿ったまちづくりを進めていく。

問 施政方針の「高齢者が安全安心に暮らせるまちにする」ため、最重要課題は何か。

答 地域全体の発展と共生を促進する重要な取組である。高齢者が生活支援の担い手として活躍することを通じて、地域、社会全体の活性化や人材育成が期待される。様々な主体が連携し、高齢者の社会参加を促進することで、地域の魅力や活力が向上し、持続可能なまちづくりが実現されると考えている。

問 農業振興地域の農道整備について、一部生活道路として機能している。メイン道路が混むと一般車両が農道を通るため、路面が傷む。市道認定道路と農道との整備改修の仕分はどうか。

答 農業用道路は、土地改良事業の圃場整備事業等により、土地改良事業計画設計基準に基づき設計されている。基準では大型車の通行がない場合は、アスファルト舗装厚は3センチとし、一般道路とは基準が異なる。整備及び維持管理に係る費用は、土地改良区、地元、市が負担している。一方、市道認定については、野洲市道に関する条例第3条の規定により、議会の議決を経て市道の認定を行い、維持管理についても同条例第4条の規定により行っている。

問 「教育のまち」推進について、スクールソーシャルワーカーの市費による配置や児童生徒の相談など、学校の安定に向けた施策に手厚い施策が講じられてきた。一方、今まで未配置の外国語指導助手（ALT）や学校司書は、令和7年度予算に確保され、一歩前へ進んだ形となった。こうした現状を踏まえ、取り組むべき課題は多く、かつ予算の制約もある中で、教育のまちに向け、まず取り組むべきことは何か。

答 学校司書、ALT、自動応答電話の設置に令和7年度から取り組む。これらを導入することで図書館教育、外国語教育、働き方改革などを効果的に推進していく。また、全ての学校に十分な配置はできていないので、拡充に向けて取り組んでいきたい。さらに、設備や人員の配置だけでなく、野洲市で学びたい、野洲市の学校で働きたいと多くの市民や教員に感じてもらえるよう、教育の質の向上や働き方改革も進めていきたい。



公明党

津村 俊二 議員



公明党（2名） ◎は代表

◎ 津村 俊二 木下 伸一

令和7年度 施政方針について

問 自治体の知恵と工夫に任せるような真に自由度の高い制度づくりについて見解を伺う。

答 各自治体が抱える課題を、自らの知恵と工夫によって解決していく仕組みをつくるのが真の地方創生であると考えている。

問 高齢者にも安全安心で楽しいまちについて市民の行動変容を促す取組を進めるとともに社会参加を促進とあるが、具体的な見解を伺う。

答 地域住民が自ら健康づくりに積極的に参加し、地域コミュニティ活動やボランティア活動などから、地域全体で支え合い住民主体の活動を通じて、地域全体での健康意識の向上や予防意識の醸成が図られ、介護予防や社会参加の促進などが実現されると考えている。

問 産官学の連携により企業の投資や進出を促すための取組について伺う。

答 県立高専を含めた産官学協議体の設置を掲げ、教育や協議体を検討し、県立高専を起爆剤として市民、民間の力を最大限活かすまちを目指し、高専卒業生の市内定着と高専を核とした市内産業振興を考えている。

問 こども計画策定に向けた現況調査の具体的な内容について伺う。

答 施策の対象となる子ども、若者を対象としたアンケート調査及びヒアリング調査を実施する予定である。

問 中主地域包括支援センターの取組と市の連携について伺う。

答 総合相談支援業務、成年後見制度の活用促進や高齢者虐待などの対応を行う権利擁護業務等、介護予防ケアマネジメント業務がある。また、認知症になっても住み慣れた地域で暮らし続けられる認知症総合支援事業の取組を進める。

問 傾聴と対話の具体的な取組について伺う。

答 市民満足度を測ることを目的としたマーケティング調査を実施し、ニーズの把握や分析を行う。対

話では、市長自らが、各種団体や市内事業所等が行う集会、会議などに出向いていく。

◎教育方針について

問 2つの「防災・忘災」「想像・創造」についての具体的な取組を伺う。

答 学校、園では年間3回程度避難訓練を実施し、常に意識を持ち、忘れないほうの忘災につなげている。そうぞうについては、いかに相手の立場に立って考えられるかということであり想像する力を育てるため、人権学習を推進している。

問 不登校の課題に対する具体的な取組について伺う。

答 カウンセラーの勤務日数を増やし、相談枠を増やす予定をしている。また、訪問型教育支援の支援日を、これまでの週2日から週4日にする。アウトリーチ支援にも力を入れていく。

問 コミュニティスクールを通じての取組について伺う。

答 机上での学びのみではなく、人との関わりや体験を通して人の温かさや生き方を学ぶ。地域の子どもは地域で守り育てるといった社会総がかりで子どもたちの育ちを支援する体制づくりを推進していく。

問 主体性を育む教育として受動的から能動的に学ぶ学習方法について伺う。

答 授業においては、実際の社会問題や地域課題をテーマにしたプロジェクトに取り組み、主体的に学び力を養い、生徒が自ら情報を収集、分析し、解決策を提案する経験を積んでいる。





いな がき せい すけ
稲垣 誠亮 議員
創政会



みんなのヒーロー「病児保育室とう太」

問 野洲市の誇りである「病児保育室とう太」だが、開院以来滋賀県で利用者数ナンバーワンを更新しているが要因は。

答 事業者の努力が最も大きく非常に高く評価している。

問 本市における病児保育の今後の展望は。

答 病児保育事業は少子化が進展する中、安心して子育てをしていく上で必要不可欠な事業であると捉えている。また先日「病児保育室とう太」の主催により、市内商業施設においてイベントを開催され多くの方に来場いただいた。

問 「病児保育室とう太」は2017年6月に旧御上会野洲病院の小児科部長が開院した。野洲市内在住の多くのこどもが病児保育の利用経験があるという全国で見ても

稀なレベルまで病児保育の認知度を高めたが、見解は。

答 非常に有難く、市民にとっても非常に有益であると認識している。感謝している。

問 本市の新生児訪問、産後ケアの現状は。

答 令和5年度の訪問件数は320件、訪問率は95.2%である。育児不安や、産後に心身の不調を抱える母親及びそのお子さんを対象に医療機関と委託契約を結び、母子のケア、授乳指導、育児アドバイス等のサービスを提供している。

問 家庭によっては複雑な環境のケースもあると思うが、子育て家庭支援課との連携は。

答 母子保健分野が赤ちゃん訪問等している中で、児童福祉分野の保育士等の養育支援訪問員と連携して支援している。

◎(仮称)駅前パークモールについて

問 連携事業者である「サンヨーホームズ(株)」との進捗状況は。

答 市長の思いを酌む形で3月3日に同社から変更提案があり、現在内容について精査をしている。



すず き いち ろう
鈴木 市朗 議員
新誠会



滋賀県産業用地及び都市計画区分の見直しについて

問 都市計画マスタープランに大規模工業地の隣接地域における新産業の創造、新たな企業立地促進として指定の市三宅寺角など22ha地域がある。その実現性は。

答 地権者の総意及び事業熟度や確実性のある提案を前提に、タイミングを計り、市街化区域編入候補地として取り組む。

問 上記当該地に対する地権者への行政の説明の経緯は。及び、地権者への働きかけを行う専門チームの創設は。

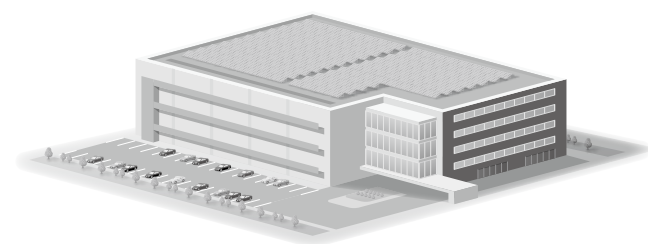
答 当該地区への趣旨説明は実施していない。令和5年度に企業戦略担当の室を設置し取組を進めている。

問 次の大津湖南都市計画区域の見直しに向けて、本市は①新病院周辺の富波甲5.8ha ②富波乙の産業系14.6ha ③大篠原の鷺坪6.9haの3カ所を候補地とする申請の対応は。

答 3候補地は特徴として、①は市立病院整備、隣接市街化区域との連続整合を図る。②及び③は主要道路と接し、利便性が高く既存工業地域から連続性が保たれ、工業地域の拡大につながる地区になる。何れの地区も事業者、地権者、地元自治会の合意形成が進んでおり、2月8日市民説明会を開催し、2月12日県に申し出る原案を野洲市都市計画審議会に諮問、答申を受けたのが現状である。

問 ウエハー洗浄装置世界シェア首位企業の新工場整備、高専と企業をつなぐ“共創フォーラム”を開催、“琵琶湖半導体構想”の新聞報道など、当市の発展にとって好機であるが、市長の所見は。

答 産・官・学の連携が一層高まるこの機運は、本市のポテンシャルを如何なく発揮出来る好機である。社会の動向に敏感に反応し、波に乗った施策を展開したい。



2月定例会

一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。
掲載は発言順です。



おく やま ぶんいちろう
奥山文市郎 議員
創政会



今後の災害発生に備え、今から「共助」体制づくりを！

◎「被災者支援の災害ボランティアセンターについて」

問 災害ボランティアセンター設置を想定する施設や場所、及びその運営主体を伺う。

答 市北部合同庁舎（旧中主町役場）を想定し、社会福祉協議会が運営主体となる。

問 災害がれきや被災した家庭の家具等の仮設置場はどこを想定しているのか伺う。

答 災害廃棄物処理計画に基づき、1次仮置場と2次仮置場があり、災害状況に応じて開設場所を選定する。



家具等の搬出（能登半島地震現場）



はし とし あき
橋俊明 議員
新誠会



国道8号バイパス北伸の委託業務の進捗について

問 国道8号バイパス北伸に係る、近江八幡～野洲間の交通円滑化や幹線道路の機能強化等に関して、現在国土交通省で発注されている委託業務名とその内容を伺う。

答 業務名は「滋賀県東部地域道路網調査他業務」であり、交通円滑化や幹線道路の機能強化等に関わる調査として、当該地域の交通特性の分析を実施されている。

問 その調査業務の進捗状況を伺う。

答 広域的な地域ネットワークの課題の調査、路線の必要性や効果の調査といった項目に関して業務を進めている段階である。

問 滋賀国道事務所から調査結果の具体的な報告は受けているのか伺う。

答 調査結果については、一定報告がまとまった段階で提供いただいている。関係2市1町の担当者が集まっ

問 本市で市民参画による被災者支援等の訓練を実施し、防災や助け合い精神を醸成するような計画はないか伺う。

答 現在、年1回、社協でボランティア派遣のマッチングや受付等の対応を行うような運営訓練をされている。

◎「スマート（賢い）な地区計画制度運用について」

問 農村地域では白地農地が耕作放棄田化していく傾向もあるが、本市の地区計画制度の特徴と、今後行政から地域への積極的な制度活用誘導方策はないか伺う。

答 特徴は既成市街地隣接部での計画的な住宅開発等、地域の主体的な発意から当該制度活用を検討している。

問 本市独自の弾力的な運用基準で規制緩和を行い、市民や業者目線での柔軟な開発促進施策は考えていないか伺う。

答 都市計画法に基づく開発技術基準と同等の適合基準を設定している。申請者の意見を聞いて、配置や用途の工夫等の相談にも応じていく。

その他の質問 ・湖岸開発(株)の法令遵守について

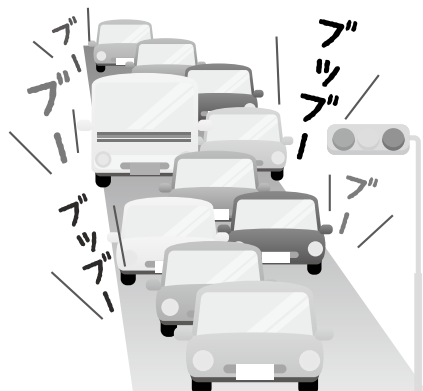
て、各市町の道路づくり、まちづくりの特徴を説明し、それらの情報をもとに国土交通省においてバイパスの必要性を整理している状況である。

問 バイパス北伸に関して、令和7年度予算において何らかの予算は計上されているのか伺う。

答 令和7年度の国の予算は、まだ国会で予算審議の段階なので未確定であるが、令和6年度と同様に調査費の予算の中で継続していくと聞いている。

問 国道8号バイパス北伸の今後のフローを伺う。

答 確たるものは提示できる段階ではないが、東近江区間整備促進期成同盟会の構成市町が一丸となり、バイパス整備の事業化につながるよう引き続きしっかり国に要望していく。





とう ごう かつ み
東郷 克己 議員
新誠会



幸せに暮らし続けられるまち、飛躍を遂げるまちへ

問 若い世代に選ばれるまちの鍵は、議論の深化にある。庁内論議の活発化と経過を含めた広報、そして市民提案実現への課題も市民と議論するなど枠を拡げ、深めた議論が重要。見解は。

答 新規事業に関し若手職員チームによる議論を開始し、また市民との傾聴と対話を心掛けている。市民と課題を共有し、課題克服へ共に知恵を絞るようなプロセスが重要と考えている。

問 めざそうとする「教育のまち」の概要、具体像は。

答 学びたい人、そして教える人から選ばれるまち、就学前から高齢層まで連続性を持ってつながる教育のまちをめざす。

問 子どもの遊びは創造性、社会性等を身につける大きな役割がある。整備検討する遊び場は教育と連続性

を持ち、子どもの輝く力を引き出す明確なコンセプトを持つ施設を願う。見解は。

答 駅前やM I Z B E ステーション、さざなみホール等のチャンスがあり、子どもが輝くコンセプトを持つ施設を考えている。



(画像提供：(株)バーネルンド)

◎誰もが大切にされ、安心して暮らせるまちへ

問 認知症の周辺症状激化の背景に「何も分からない」等の誤った認知症観と家族等の励ましが叱責と受け取られ、周辺症状を生む「からくり」がある。物忘れを咎めない等、からくりの解除で周辺症状が激減する結果が出ている。認識と今後の方向は。

答 「からくり」を理解し苦悩やつらさを受け止め、実践できる人の増加は、認知症の人の尊厳を守ることにつながる。認知症サポーター養成講座も症状の意味と適切な関わり方を理解しやすい内容に改変する。認知症を特別視せず、共に歩む感覚で受け入れる社会になれば尊厳を保ち、支え合い、共生する社会になると考えている。

その他の質問 ・児童虐待への対応について等

答 補助金については、物価の状況を勘案して検討をしていく。

◎特別支援学校の大規模化解消と既存校の改善について

問 県教育委員会は生徒数400人を超える草津・野洲養護学校の大規模化を解消するため、守山市金森地先に新たな特別支援学校を新設する計画を進めている。しかし、新たな特別支援学校の設置基準は新設校に適用で、既存校は「努力義務」となっているため、教育環境の改善は図られていない。どの子らにも行き届いた教育を保障するためには、大規模化の解消が必要と考えるが見解を伺う。

答 特別支援学校の教育環境の整備指針のもと、順次実行されていくという認識である。

問 医療的ケア児は保護者が送迎をされている。県は市町と共同で「福祉的支援」として年間12回の送迎を実施しているが、「教育を受ける権利」として、送迎回数を増やすべきと考えるが見解を伺う。

答 市長会から県教育委員会に対して、利用回数や発着場所の制限なく利用できるよう要望を行っている。



こ すが やす こ
小菅 康子 議員
日本共産党野洲市議会議員団



安心して住み続けられる介護施策を

◎訪問介護事業について

問 昨年4月から訪問介護の基本報酬が2～3%引き下げられた。全国では1月現在、半年前に比べて579カ所の事業所が減っており、本市でも特に小規模の訪問介護事業所は厳しい経営である。訪問介護事業が立ち行かなくなれば、介護難民を生むことになり、市の介護保険事業を計画通り実施することが困難になるのではないか見解を伺う。

答 訪問介護事業が担う役割は重要である。事業所が健全な運営状況を保ち、持続可能な事業であることが必要である。

問 基本報酬の引き下げに加えて、物価高騰が事業所の経営を厳しくしている。燃料代への独自の支援はできないか。

2月定例会

一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。掲載は発言順です。



いわい ちえこ
岩井 智恵子 議員
新誠会



国民スポーツ大会の進捗状況と今後の課題や対策について

問 いよいよ今年、44年ぶりに第79回国民スポーツ大会、第24回全国障害者スポーツ大会が行われるが、大阪関西万博もあり宿泊施設の確保が懸念される中、選手や監督の宿泊先は確保されているか。

答 配宿業務を効率的かつ円滑に実施するため、滋賀県と県内各市町が業務を委託する、配宿センターが宿泊施設を一元管理するとともに、一括して配宿することになっている。

問 予想される来訪者数について伺う。

答 先催祭の実績等を踏まえ、推計で卓球では大会関係者、観覧者約15,000人、バスケットボール女子では、関係者、観覧者約5,500人、ラグビーフットボールでは、関係者、観覧者約17,500人、武術太極拳では、関係者、観覧者約2,000人、期間中延べ合計40,000人、1日当たり

概ね1,000人から4,000人程度を見込んでいます。

問 駐車場確保・輸送手段確保について伺う。

答 会場の総合体育館の駐車場は、基本的に競技関係者とし、一般・市民の方は、臨時駐車場としてさざなみホール・駅前南口の市有地Bブロックを利用する計画である。土日は、市役所・文化ホールの駐車場も利用。送迎は、駅前のAブロックやさざなみホールから会場まで、主にシャトルバスを利用する計画である。市内循環バス「おのりやす」は通常運行する。

問 各学校の児童生徒の国スポ競技観戦について伺う。

答 教育委員会を通じて、趣旨を説明した上で意向調査を行い、観戦時間や送迎方法を含めた調整を行っている。



むら た ひろ ゆき
村田 弘行 議員
無会派



野洲市の税の無駄使い・行政改革を問う

◎各種給付金の為のシステム改修について

問 各種児童手当で、去年と一昨年に3万円給付があった。そのシステム改修はどの業者に委託したか。

答 おうみ自治体クラウド協議会において、基幹系のシステムを共同調達している。その調達事業者は、トーテックアメニティ株式会社で、本体契約を締結している。住民基本台帳システムをはじめ、開発事業者が提供する各システムを代理店として一括して調達するシステム業者である。

問 一括では、競争原理が働くのか。また給付金の度400万円、800万円の金額でシステム改修を委託されているが、住民税非課税世帯や子育て世帯に急な増減があるとは思わないので、問う。

答 行政改革の視点から、このデジタル化は効率化を図るために必要で、ミス無くし負担軽減を図る。ICT化をしっかり徹底し、今後市として改善が必要と見受けられたら改善する。

◎LED工事における工事監理業務と入札監視委員会を問う

問 最近出来た子育て支援センターは4億円の工事で700万円の監理委託、小学校中学校の体育館LED工事は2,600万円の工事で160万円の監理委託をするということは、教育委員会に人がいないからか。

答 金額の多寡ではなく、広範囲の統括的な業務が必要と判断。

問 この入札で15者指名で応札1者、2者は辞退届も未提出であった。入札監視委員会施行規則では、状況により市長が委員会に上程できるとされているが、このひどい状況で市長は上程されるのか。

答 現時点では、入札監視委員会に意見を求めない。





きの した しん いち
木下 伸一 議員
公明党



ボランティア活動への応援

◎野洲市における献血推進活動について

問 近年の野洲市における献血推進活動の課題は。

答 将来にわたって安定的に血液が供給される体制を維持するため、若年層に対して重点的に献血の普及啓発に取り組み、若い世代の献血者数を増やすことが課題である。

問 近年の野洲市における献血推進活動の取組は。

答 移動採血車により年間41回、うち3回は野洲市役所で献血を実施し、事前に周辺事業所への協力を依頼し、来庁者等へ一斉放送による協力呼びかけ、献血協力者への記念品渡し等を行っている。また広報紙及びHP等での普及啓発をしており、さらに来年度から公式LINEによる周知を検討している。



はっ とり よし お
服部 嘉雄 議員
創政会



将来を見据えたインフラ整備を

◎上下水道やクリーンセンターの安定的稼働

問 埼玉県八潮市のような陥没事故を防ぐため計画的な点検整備を。

答 定期的な点検とともに、水道管は40年、下水道管は50年を目安として更新を行い、経費の問題もあり、料金の見直しにも着手したいと考えている。

問 クリーンセンターの搬入量の推移と今後の更新について計画はあるのか。

答 搬入量については、一般家庭ごみは前年度比3%の減少、事業系一般廃棄物は4%の増加となっているが、全体として当初計画値よりリサイクル等3Rの推進により減量化が図られている。クリーンセンターの現在地での稼働は令和24年3月31日までであり、令和12年度には次期整備施設に向けた計画策定の開始を予定している。

問 野洲市における小中学校での献血推進活動の取組は。

答 日本赤十字社及び厚生労働省が作成している冊子の配布やポスター掲示等で周知をしている。

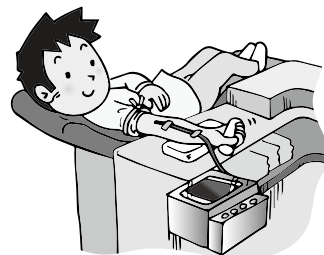
◎野洲市における子ども食堂の支援について

問 野洲市役所における子ども食堂に関する相談等の窓口は。

答 日常的な困り事は、野洲市社会福祉協議会が地域の相談窓口としての役割を担っているが、行政の相談窓口は、まず健康福祉部市民生活相談課で相談を受け、相談内容によって適切に関係課につなぐ、あるいは庁内で連携を図り対応する。

問 子ども食堂への支援についての今後の見通しは。

答 第3期野洲市地域福祉計画に基づき、子ども食堂をはじめとする住民主体による地域活動や、居場所づくりのあり方について検討しており、持続可能な住民福祉の活動拠点のあり方について引き続き議論する。



◎野洲市民病院整備事業の推進と経費削減

問 2月12日の市民懇談会で市長は「議会の決議や副市長案を否決されたから、この軽減策くらいしか打つ手がなかった」と発言されたが関係者に対し失礼ではないか。釈明を求める。

答 これまでの経緯を説明した内容であり、議会の決議や副市長人事案を否決されたから、この削減策しか打つ手がなかったとは思っていない。具体的には指摘のようには申しあげていない。

病院建設を中断して時間をかけてしまうと、市況からして再起工することはほぼ不可能な事、医師や医療従事者の確保の難しさ等を伺い、今回の方策が最適最良であり、唯一の市民負担の軽減策であると判断した。



新病院工事が開始された総合体育館横の現場

2月定例会

一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。
掲載は発言順です。



た な か よ う す け
田中陽介 議員

暮らしと自治を考える会



新年度は野洲の新たな未来のスタート！

◎施政方針について

問 若い世代から選ばれるまちとあるが、他市町村と若者や人口の奪い合い取り合いで消耗することにならないか。

答 他市を意識した横並びの行政サービスに注力して消耗戦に挑むのではなく、野洲市独自の取組に尽力していく。一方、広域化についても積極的に整理し、議論していきたい。

問 市民が参画できる仕組みとして、阪南市や相模原市のように、公募型の「協働協創提案制度」を設けてはどうか。

答 今は現場との対話を実践しているが、市民参画については手探りなので、制度についても検討の一つとして研究したい。



い し か わ え み
石川恵美 議員

創政会



野洲市の教育行政について

問 令和7年度の教育方針として学校教育充実も挙げられている。教職員定数の改善や外部人材の活用、地域全体で学校を支援する体制の構築が必要だと考える。教職員の定数改善は国の財政に関わってくるため改善は困難だが、県や市が独自に設定し、裁量努力で教員を多く配置する事は可能だと思う。是非とも早急に教育の改革をしていただきたいが、見解は。

答 国の教職員定数では足りないの、市としては支援員等を配置している。まだまだ必要だという認識はしている。

問 今回A L T（外国語指導助手）を1名配置され、3つの中学校に派遣されるが、ひとクラスあたりの英語学習の頻度は。

答 3中学校に1週間ごとに巡回を計画。週に1回か2回の予定。

問 持続可能なハードを作る際には検討段階でソフト面の人材の意見を入れていく必要があると考えるがどうか。

答 整備後のイメージから逆算し、市民参加で正しい情報を共有しながら、意見と対話を繰り返し進めていきたい。

問 市長をはじめ市役所の資源というのは限られている。まちづくりにおいては市民の中で議論を醸成できる、自走できることが必要で、市はその支援が役割であると考えがどうか。

答 活動団体の支援や育成等を伴走型で支援することで、何もかも行政だけではなく、住民から新しい社会の担い手を、という部分は非常に大事である。そうした視点もしっかりと持って、このまちづくりを進めていく必要があると認識した。

問 野洲市の大半を占める市街化調整区域を活用することによって地域に新たな価値を生み出すことができる。方法として、空き家等活用促進区域の適用制度を活用できないか。

答 今までは当市には当てはまらないとしていたが、制度はどのように使うのか、使う側の課題認識によって変わるので違った見方で、この制度の活用の是非について考えていきたい。

問 A L Tによる英語学習の時間はそれで十分なのか。

答 十分ではない。各中学校に1人ずつが望ましい。

問 教員不足の課題について市長は公約で、県には太いパイプがあると言っていたが、県や国に要望は何回くらい行ったのか。

答 教育委員会と役割分担がある為、行った事は無い。

問 役割分担は重々承知の上で質問している。教育の枠組みを外しても協力して教育の改革をするべきだと考えるが、見解は。

答 これまでの本市の対応と同様で理解いただきたい。

問 限りある財源の中で教育はもちろんの事、すべてにおいて今の財源では不十分だと考える。これ以上市民に負担をかけることなく、税収を増やすべきで、是非とも税収が望める策を進めるべき。それを踏まえた上で駅前構想も税収が望める計画にするべきと考えるが見解は。

答 中長期的に考えてまちの発展が税収につながる。直ちに税収は難しいが、まちの発展を感じていただきたい。税収が得られる方策と一緒に考えていただきたい。



やま さき ゆう こ
山崎 有子 議員
創政会



市民サービス向上のためにできることから

◎「おくやみ窓口」設置の検討を

問 令和6年2月石川議員が「おくやみ窓口」設置について質問されたが、その後改善策の導入はあったのか伺う。

答 改善策の導入に向けて、現在内部協議及び県内他市町を調査・研究している。実施している自治体はそれぞれのやり方をしているが、課題は多いと聞いている。費用もかかることから予算面や、市民の負担軽減、職員の負担軽減のためにどのような方法があるか調査・研究しているところである。

問 今後ワンストップ窓口の実施に向けて取り組むために、推進役となるのはどこの課か。

答 窓口である市民課が推進役になる。

問 野洲市でも予約制にして、各課に協力してもらうなどして、ワンストップに近い状態にすることはできないか。

答 実施については課題が多く非常に難しいが、関係各課と協議、検討していきたい。

◎文化小劇場の役割と必要性について

問 文化小劇場は利用率が高いが、その理由は何か伺う。

答 駅前という立地、中規模の研修会や講演会に使いやすい、移動可能な席で自由度が高く多用途に利用できる、利用料金が手頃である、以上のことが理由であると考える。

問 文化小劇場は令和8年に解体予定であるが、文化ホールの改修が終わるまでの1年間、解体を延期することはできないか。

答 公共施設等適正管理推進事業債の期限が8年度中であり、設備の老朽化が激しい為、さらに1年延長することはできない。

問 文化小劇場の役割や機能から、是非とも存続を望むが市の見解は。

答 駅前整備の一体的な検討の中で、必要な機能を考えていく。

アプリで「やす市議会だより」が読めます。



マチイロ

まちを好きになるアプリ

ダウンロードはこちらから



iOS版



Android版

1. スマホやタブレットでQRコードを読み込み、アプリ「マチイロ」をインストール

2. 「お住まいの地域」で「滋賀県野洲市」を登録

広報やすも読めます！



3月29日、大津湖南幹線開通式が近江妙蓮大橋で、多くの市民の皆様の参加のもと挙行されました。渋滞緩和や利便性の向上、地域の発展が期待されます。



表紙写真募集

市内で撮影された自然や風景、行事などの写真を募集しています。

次号(令和7年8月1日発行)への応募は6月20日締切です。



傍聴のご案内

あなたも議会を傍聴してみませんか!

原則、自由に議場または委員会室の傍聴席にお入りいただくことができます。

インターネット議会中継がご覧いただけます。



特集③

野洲市の議員を紹介します



毎号3名ずつ紹介いたします。

服部 嘉雄
議員

創政会



38年にわたり勤務した中主町役場、野洲市役所では人権教育や企画、福祉、環境行政等様々な部署を担当させていただきました。字別懇談会の開催、広報紙や町政要覧の発行、オフトーク通信(有線放送)の運営、市民生活相談課の立ち上げ、ごみの分別収集の推進など様々な思い出があります。

人口減少・超高齢化社会が進行していますが、湖南エリアはまだ発展の可能性があります。今のうちに人口増加と産業振興による活性化を進め、まちの発展と財政力強化を図り、今後に備える準備が必要です。長年の経験を活かして市の進むべき方向を見定め、「笑顔で暮らせる住み野洲いまづくり」をめざしたいと考えています。

山崎 敦志
議員

新誠会



私は、議員活動2期目の最終年を迎えて、十分な取組が出来て来たかを振り返っています。

社会人としては、地元企業で40年勤務し製造業務および総務業務を担当し、人権啓発窓口や環境問題に取り組んでまいりました。また地元では、体育振興会役員や小学校同窓会役員などの経験が、議員活動に役立ち、地元企業や地域住民との交流によりお聞きした課題について取り組んでいます。

趣味は多くありませんが、畑をお借りしての野菜づくりやゲートボール、グラウンドゴルフを時間の空いた時に取り組んでいます。

昨年の野菜づくりは、酷暑により失敗しました。

山崎 有子 議員

創政会

私は大津市で生まれ、野洲市に住んで46年になります。子ども3人を三上山の麓、豊かな自然の中で育てました。子育て支援や民生委員、ボランティア活動を通して誰もが地域の中で支え、支えられている存在であることを実感してきました。社会が変化しようとも、人と人との信頼の絆こそが心豊かな社会を創ると思います。

野洲市は潜在力があり、もっと発展できるまちです。安全安心な生活のためのインフラ整備や様々な計画実施には財源の確保が必要で、その潜在力もあり、互いの力を生かし合うことで発展する力もあります。今後も市民の皆様と確かな情報を共有し、よりよい選択



をしてまちづくりが進むよう、懸命に誠実に取り組んで参ります。

■順番については抽選により決定しました。

6月

次回の野洲市議会予定

5㊦	定例会開会
13㊦	議案質疑、一般質問
16㊦、17㊦	一般質問
18㊦、19㊦	予算分科会、常任委員会
25㊦	予算常任委員会(採決)
27㊦	委員長報告、質疑、討論、採決、閉会

◇開催予定時刻は9時です。27日のみ13時からです。
日程は都合により変更される場合があります。



定例の野洲市議会

やす市議会だよりをお読みいただき、ありがとうございます。

編集後記

今号は、令和7年度予算等を中心に審議結果と、本市の重要課題である野洲市民病院整備事業特別委員会と都市基盤整備特別委員会の審議内容を特集で掲載しています。

今後も野洲市議会の情報を、広く市民の皆様とわかりやすくお伝えできるように、取り組んでまいります。ご意見、ご要望をお寄せいただけると幸いです。